

第2回 JR古賀駅東口周辺地区整備基本計画策定会議 議事要旨

日 時	令和3年2月10日(水) 14時00分～16時00分		
場 所	交流館103会議室		
出席者 (敬称略)	委員	福岡大学工学部社会デザイン工学科 教授	柴田 久
		熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター 准教授	星野 裕司※
		古賀市商工会 会長	藤本 芳博
		花鶴タクシー株式会社 代表取締役	保井 亨
		株式会社古賀タクシー 代表取締役	後藤 正典
		西日本鉄道株式会社自動車事業本部営業部営業第二課 課長	小川 裕之※
		九州旅客鉄道株式会社総合企画本部経営企画部 鉄道・開発計画 担当課長	力武 基樹※
		福岡県公立古賀竟成館高等学校 教頭	米原 光章
		福岡女学院看護大学 事務部長	武井 秀仁 (代理:鶴 典子)
		株式会社ホーホウ 代表取締役	木藤 亮太※
		古賀市行政区 古賀東区長	尾塚 正明
		ニビシ醤油株式会社経営企画室 室長	玉谷 武志
		福岡県粕屋警察署交通規制課 課長	松田 雅文
		国土交通省九州地方整備局建政部都市整備課 課長	田中 耕介※
		独立行政法人都市再生機構九州支社 都市再生業務部まちづくり支援室 まちづくり支援課 課長	高山 欣也※
		古賀市	建設産業部都市整備課古賀駅周辺開発推進室
事務局	株式会社都市環境研究所		
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・議事次第 ・資料1 JR 古賀駅周辺の現状と課題(修正版) ・資料2 JR 古賀駅東口周辺地区の整備方針(まちづくり基本計画抜粋) ・資料3 都市計画道路のパターン別のメリット・デメリット比較 ・資料4 JR 古賀駅東口周辺地区整備基本計画策定会議の流れ ・資料5 JR 古賀駅東口周辺地区整備基本計画策定会議スケジュール(修正) ・参考資料 古賀駅東口周辺地区まちづくり基本計画(案) 		

※オンラインによる出席

<議事要旨>

1. 開会

2. 説明および意見交換

(1)JR 古賀駅周辺の現状と課題

JR 古賀駅周辺の現状と課題(第1回会議からの修正)について説明

【意見交換】

(委員)

古賀駅東口駅前広場への入口として、郵便局前交差点に車が集中し混雑するため、解消する必要があると思う。歩行者のみではなく、車での回遊性、流れをスムーズにするという点も考えて検討する必要がある。

(委員)

地域のイベントも開催できる魅力的なオープンスペースが必要とあるが、規模としてはどの程度のイベントに対応できるのか。

(古賀市)

ご意見を頂きながら今後検討したいが、大小様々な利用に対応できるようにしたいと考えている。

(2)JR古賀駅周辺の整備方針

JR古賀駅周辺の整備方針について説明

【意見交換】

(委員)

整備想定エリア南側の居住ゾーンは将来的に道路拡張を含めて、開発により高層化をしていくことになるのか。

(古賀市)

今回の計画による整備対象はニビシ醤油の敷地を中心とした、資料2における「東口周辺地区整備想定エリア」と考えている。

(委員)

電線の地中化は行うのか。

(古賀市)

整備想定エリア内については無電柱化する方向で検討したいと考えている。

(副座長)

新規住民、古賀市民、市外からの来街者など、整備後の公園や店舗のターゲットをどのように考えているか。対象が広域になると西口の商店街との連携等も重要になってくるだろう。

(古賀市)

ターゲットについて、市としては主に古賀市内の多様な方が訪れる空間になればよいと考えている。市外からも公共交通機関等を使って駅前に来られる方は、ターゲットに含まれると考えている。

(副座長)

古賀市の大きなプロジェクトであり、多くの方が訪れてくれる場所になれば良いと思う。

(座長)

今回の整備で古賀駅東口が一つの拠点になることで、西口にも相乗効果が生じ、東西で高め合うようになれば良いと思う。

(委員)

古賀駅と生涯学習ゾーンをシンボル空間軸でつないだとき、周辺の土地利用としてはマンション等が考えられるが、南側にマンションを配置すると公園に日影を落としてしまうので、配置計画は周辺の土地利用も含めて考えていく必要がある。

(古賀市)

日影については様々な考え方があり、配慮しながら検討する必要があると認識している。

(座長)

警固公園など日影があることで人が集まり、居心地のよい場所をつくっている事例もある。日影にはメリット・デメリットがあるため、両面から検討する必要がある。

(委員)

整備を行うにあたっては、まず用途地域をどうするか決めるべきではないか。

(古賀市)

用途地域と地区計画については次年度に検討を進める予定である。

(委員)

現状、昼間には駅周辺には人気がない。誰も歩いていない商店街やメイン道路はどう考えているのか。

(古賀市)

駅西口のにぎわいについては、別の事業で活性化に向けた検討が進められている。

(委員)

公園・緑地がメインとなる計画ということだが、公園の整備だけで人が訪れるのか。飲食店の出店を促したり、民間の力を活かす取組が必要ではないか。

(古賀市)

活気のある街にしたいと考えており、そのために古賀市としてサウンディング調査等の検討は行ってきたいと考えている。

(委員)

駅前の印象的な空間・景観について、具体の視点場を設定し、どう見せたいかがあるとよいと思うが、現時点での考えはあるか。

(古賀市)

駅からリーパスプラザまでを緑の軸でつなぐということを意識しており、視点場として、駅から出たときに開けた空間があり、リーパスプラザを望めるようになればと考えている。

(委員)

駅の1階か、2階かでも見え方は違うと思うので、今後より詳しく検討していく必要がある。

(副座長)

視点場という観点では、見下ろす場所である自由通路の設計がポイントになる。

(座長)

公園からも駅やリーパスプラザが見えると回遊性にもつながるため、様々な場所を視点場として検討を深めていくべきである。

(委員)

都市公園を整備する場合はパーク PFI 制度の活用を考えているか。

(古賀市)

パーク PFI 制度の活用も検討し、民間事業者のノウハウを導入することも含めて、どのような公園・施設がよいか考えていきたい。

(3) 基盤整備の考え方

基盤整備の考え方について説明

【意見交換】

(座長)

今回の整備では、日影やベンチの位置など、居心地の良さをどう作り込んでいくかがポイントになる。

(委員)

古賀駅の西側には広域拠点という役割、都市計画道路には広域幹線道路としての機能がある。今回の整備計画は、都市計画道路の整備がメインとなり、公園整備はそれに付随する形になるのか。

(座長)

既に決定された都市計画道路は全国的に見直しの対象となっている。交通の流れは変わってきており、現状や将来の自動車交通、駅の使い方など柔軟に検討すべきである。

(古賀市)

福岡県の都市計画区域マスタープランにおいて、古賀駅西口は広域拠点に指定されているため、駅西口に大規模商業施設が立地可能であるが、東口には大型の施設は想定していない。1万平米未満の店舗立地については現状でも可能となっている。

(委員)

人中心の豊かな生活の実現という観点からすると、D案は駅前に交通系の機能が集まっているように見える。また、評価のポイントとして、財政的な視点も評価項目にあってよいのではないかと思う。

(委員)

広域ネットワークの視点における道路線形の確認や、交通量を踏まえた幅員構成の検討はこれから行うということによいか。また、一方通行でのループ道路という計画はありうるのか。

(事務局)

交通量調査は直近で行っており、次回参考資料としてお示ししたい。道路の幅員構成の考え方についても現在検討中であり、一方通行か双方向かについても次回お示ししたい。

(4) 次回以降のスケジュール

次回以降のスケジュールについて説明

次回策定会議 日時:令和3年3月18日(水)14:00~16:00

以上